



× 常磐シブヤ科だより

令和4年6月30日
渋谷区立常磐松小学校
No.1
担当 木村沙樹

「シブヤ科」とは

令和2年度までに計画され、令和3年度より実施している学習です。

「シブヤ科」は地域の人材や施設を活用することが多いので、必然的に学校ごとに学習内容が異なります。

「シブヤ科」とは何なのか、本校の「シブヤ科」の学習はどのような内容なのか等、御紹介します。

1 「シブヤ科」の学習の目的は？

⇒渋谷の未来の創り手となる児童の育成

- ・渋谷についてよく知ることで、子供たちの渋谷シティプライド（渋谷への愛着）を育成します。
- ・渋谷区の良さや課題を知り、良さを発信したり課題に対する分析や方策を考えたりすることで、地域に愛着をもてる児童の育成を目指します。
- ・渋谷区を、将来的に盛り上げていく人材の育成をねらいとしています。

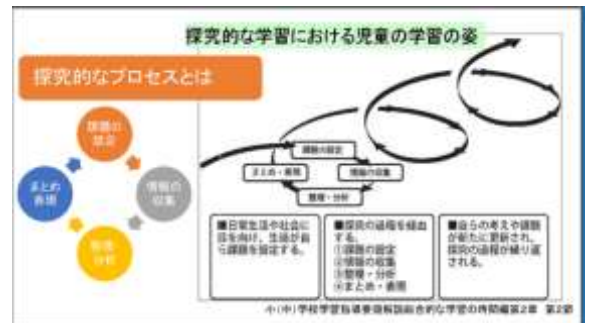


2 「シブヤ科」の学習はいつやる？

⇒総合的な学習の時間

- ・渋谷の課題を解決したり、良さを発見したりすることを通して探究していくプロセスが、総合的な学習の時間の学習過程と合致するので、総合的な学習の時間の一環として行います。「探究」することこそが「シブヤ科」なのです。

子供たちは学習の中で探究的なプロセスを繰り返しながら一歩ずつ学習のゴールに向かっていきます。



3 本校の「シブヤ科」の学習内容

3年

「発見！常磐松たんけん隊」

地域のよさを発見し、愛着心を育みます。

4年

「地域の安全を守るためのよりよい交通システムを考えよう」

事故を減らすための信号機の開発に取り組みます。(プログラミング)

5年

「食品ロスを減らそう」

飲食店の多さ、それに伴う食品ロスの多さを課題とし、解決策を考えます。

6年

「安全な社会をつくるための自動車の在り方を考えよう」

事故を減らすためや、変わりゆく時代に応じた自動車の開発に取り組みます。(プログラミング)

保護者の皆様に御協力をお願いすることがありましたら、担任から御連絡を差し上げますので、よろしくお願いたします。定期的に学習の様子をお伝えしていきます。その際はお子様からも話を聞いてみてください。